

2 取組状況

2-1 まちづくりの基本方針に基づく取組

基本方針1 誰もが安全快適に歩けるまちづくり

■ (都) 富田芝生線の整備

(1) 整備概要

場 所	清蓮寺～阪急富田東踏切
延 長	L=335m
計画幅員	W=18m（現道9mを西側に拡幅）
事業期間	平成23年度～平成30年度



(2) 整備スケジュール

	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
事業認可	■							
用地取得	■	■	■	■	■	■	■	■
実施設計			■	■	■			
地元協議				■	■	■	■	
道路工事							■	■

(3) 用地取得状況

用地取得状況	総面積： 2,448.86 m ²
	買収済面積： 1,550.73 m ²
	買収率： 63.32%（平成27年12月末現在）
用地取得計画	平成27年度末： 73.05%
	平成29年度末： 100.00%



用地取得後の現地状況

(4) 市民協働のみちづくり

[主な経過]

年月日	主な経過
平成 25 年	
2 月 12 日	・ 高槻市富田三丁目地区まちづくり協議会（以下「協議会」）が、市に対し、「富田にふさわしい道路に関する提言書」（以下「提言書」）を提出
12 月 13 日	・ 協議会に対し、提言書に対する市の考え方について説明会を開催（1 回目）
平成 26 年	
5 月 27 日	・ 協議会に対し、提言書に対する市の考え方について説明会を開催（2 回目）
12 月 9 日	・ 市が、協議会と意見交換会を開催（1 回目）
平成 27 年	
11 月 12 日	・ 市が、協議会と意見交換会を開催（2 回目）

[意見交換会（2 回目）の概要]

概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路デザインとしては、提言書を踏まえて数種類の選択肢を用意 ・ 道路整備の進め方や、設計概要に関する情報提供をもとに、地域と意見交換 																																													
	<p>整備内容について</p> <p>地域の意見をもとにした街路樹の候補</p>  <p>富田のまちをイメージした歩道舗装材のパターン</p> 	<p>スケジュールについて</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成 23年度</th> <th>平成 24年度</th> <th>平成 25年度</th> <th>平成 26年度</th> <th>平成 27年度</th> <th>平成 28年度</th> <th>平成 29年度</th> <th>平成 30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業認可</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>再建された建物の様子</p> 		平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	事業認可									用地取得									実施設計									道路工事							
	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度																																						
事業認可																																														
用地取得																																														
実施設計																																														
道路工事																																														

今後の取組	来年度に業務委託も活用しながら詳細なデザイン検討を行い、地域と意見交換を重ねながら取りまとめを行う
-------	---

■ JR～阪急間の歩行環境の改善に向けた取組

(1) 道路不正使用等の防止キャンペーン

実施主体	高槻警察、府、市
開催日	平成27年8月5日
内容	・看板や商品等の道路上へのはみ出し防止などについて啓発及び指導



実施状況

(2) 屋外広告物の安全キャンペーン

実施主体	大阪屋外広告美術協同組合、市
開催日	平成27年9月9日
実施場所	JR～阪急間、(都)富田芝生線
内容	<p>屋外広告物の適正な維持管理による安全・安心できる歩行空間の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・84店舗に意識啓発を実施 ・安全点検の結果、不具合が確認された11店舗に助言



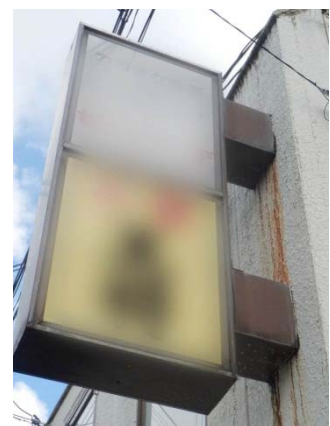
実施状況



破損が見られる事例



老朽化している事例



内部腐食が懸念される事例

基本方針3 歴史資源を活かしたまちづくり

■富田まちなみ環境整備事業

(1) 概要

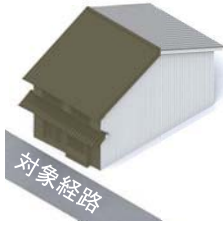
①目的

建築物等の修景や歴史資源を活かした団体活動に要する費用の一部を補助

地域が主体となった取組を更に促進

良好な景観形成による地域の魅力向上、交流人口の増加、地域住民の愛着心向上

②建築物等の修景助成

対象経路	鉄道駅と歴史資源を結ぶ経路（右図）
対象者	対象経路に面する部分の修景を行う建築物等の所有者等  対象経路に面する部分
内容	修景基準に基づく工事に要する費用の一部を助成（助成率 5/10 以内） ●建築物 ・修景基準の項目全てを満たすもの 限度額 300 万円 ・色彩項目とこれ以外の 1 つ以上の項目を満たすもの 限度額 100 万円 ●工作物 限度額 100 万円 ●屋外広告物 限度額 30 万円



屋根を日本瓦に葺き替え

開口部に木製の面格子を設置

開口部に木製の出格子を設置

間口全面に瓦葺きの庇を設置

玄関扉を木製格子戸に取替え

腰壁の仕上げを板張りに修繕

建築物等の修景イメージ

③団体活動助成

対象者	富田の歴史資源を活かしたまちづくりに取り組む市民団体等
内容	富田らしい歴史と趣のあるまちなみの再創出を目的とした活動に要する費用の一部を助成（助成率 8/10 以内） ※限度額 10 万円

(2) 周知活動

年月日	主な経過
平成 27 年	
9 月 12 日	・ 富田自治会連合の自治会長等に対し、事業概要を説明
	・ 富田まちなみ環境整備事業パンフレットを自治会で回覧
9 月 14 日	・ 市ホームページに本事業を紹介するページを開設
9 月 30 日	・ 地域住民や補助対象者に対し、説明会を開催
	・ 市民団体からの依頼に応じ、説明会を開催
	・ 対象経路に面する建物所有者等に対し、個別に説明
10 月 18 日	・ 灯露まつりにおいて、パネル展示やパンフレット配布
11 月 28 日	・ 富田文化祭において、パネル展示やパンフレット配布



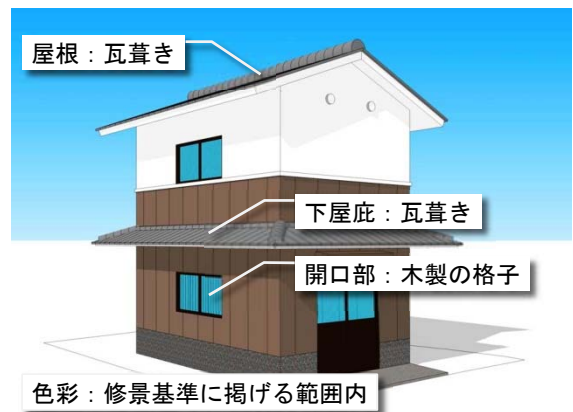
説明会の開催状況



灯露まつりでの周知状況

(3) 進捗状況

建築物等の 修景助成	[相談件数] 5 件 ・ 自治会が、来年度に新築する防災備蓄倉庫の申請を予定
---------------	---



防災備蓄倉庫の計画概要

団体活動助成	[相談件数] 2 件 [交付決定] 1 件 ・ 富田の魅力を知り、周知啓発するために行う歴史講話や広報誌の発刊
--------	--

2-2 まちづくり基本構想のさらなる推進に向けた取組

■ J R 京都線茨木・高槻間における鉄道高架化勉強会

(1) 背景

富田地区交通まちづくり基本構想の実現に向けた取組

- 富田芝生線の整備、富田まちなみ環境整備事業、地域主体のまちづくり等を推進
- 富田奈佐原線の J R ガード下の安全対策が最優先課題

J R 京都線の遮断時間の長い踏切による慢性的な歩行者の滞留や事故、さらには地域の南北分断

鉄道沿線のまちづくりに関する現状や課題を共有できる機運の醸成

J R 西日本と協調した鉄道駅周辺のまちづくり

- J R 高槻駅北東地区都市開発事業
- J R 高槻駅ホーム拡充や J R 高槻駅前広場再整備

茨木市と現状や課題を共有し目指すべき方向性を整理

茨木市との都市間連携の必要性

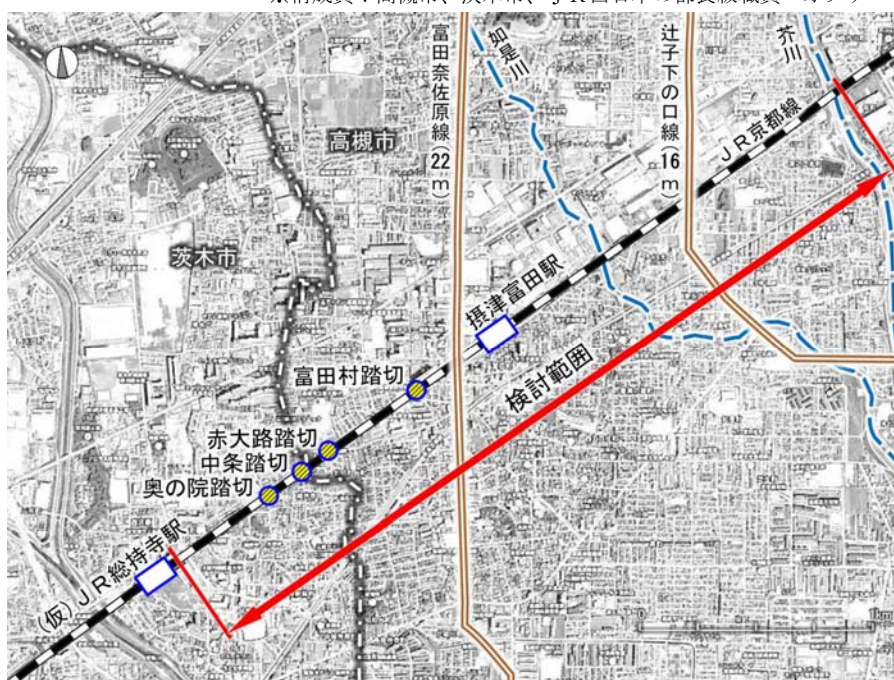
- 人口減少社会における地域連携を通じたまちづくりによる魅力向上

本市西部地域をはじめとする茨木・高槻間の都市基盤の充実や地域の南北分断の解消、踏切除却による安全性の向上を図るには、J R 京都線の高架化が有力な手法

J R 京都線茨木・高槻間における鉄道高架化勉強会※の発足

高槻市・茨木市・J R 西日本・大阪府が情報共有を図りながら、課題解決に向けた勉強を行う

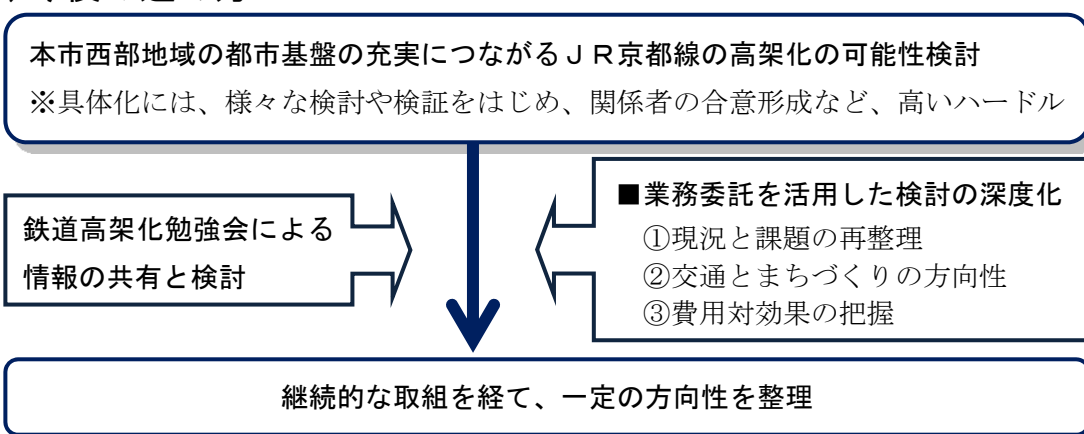
※構成員：高槻市、茨木市、J R 西日本の部長級職員 オブザーバー：大阪府



(2) 勉強会の開催経過

回	年月日	勉強会内容等
第1回	平成27年11月2日	● 勉強会の開催目的と課題の共有
第2回	平成28年1月12日	● 茨木・高槻間の高架化のメリット ● 高架化を取り巻く環境
第3回	平成28年2月9日	● 今後の進め方

(3) 今後の進め方



3 今後の取組

